

下田市下田港地区における津波対策の方針

平成 30 年 10 月

静岡県・下田市

目 次

- 1 はじめに
- 2 地区協議会意見のまとめ
 - 2.1 津波対策の基本方針案
 - 2.2 津波対策の基本方針案の詳細
- 3 津波対策の方針（結論）

（参考資料）

参 1 津波被害想定

参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

参 2 検討経緯

1 はじめに

地元町会内や関係機関・団体等の代表者で組織した「下田市津波対策下田港地区協議会」では、利害の異なる関係者間で話し合いを重ねることで、お互いに理解し合い、地区として最良であると考えられる津波対策を「下田市下田港地区における津波対策基本方針案」として取りまとめました。

静岡県及び下田市は、この基本方針案を尊重し、地区の実情を踏まえた総合的な津波対策の方針である「下田市下田港地区における津波対策の方針」を作成しました。

静岡県及び下田市では、今後、本方針に基づき津波対策を推進していきます。

なお、本方針に記載の事業の実施にあたっては、予算の確保を含め国その他関係機関等との調整が必要となります。

2 地区協議会意見のまとめ

2.1 津波対策の基本方針案

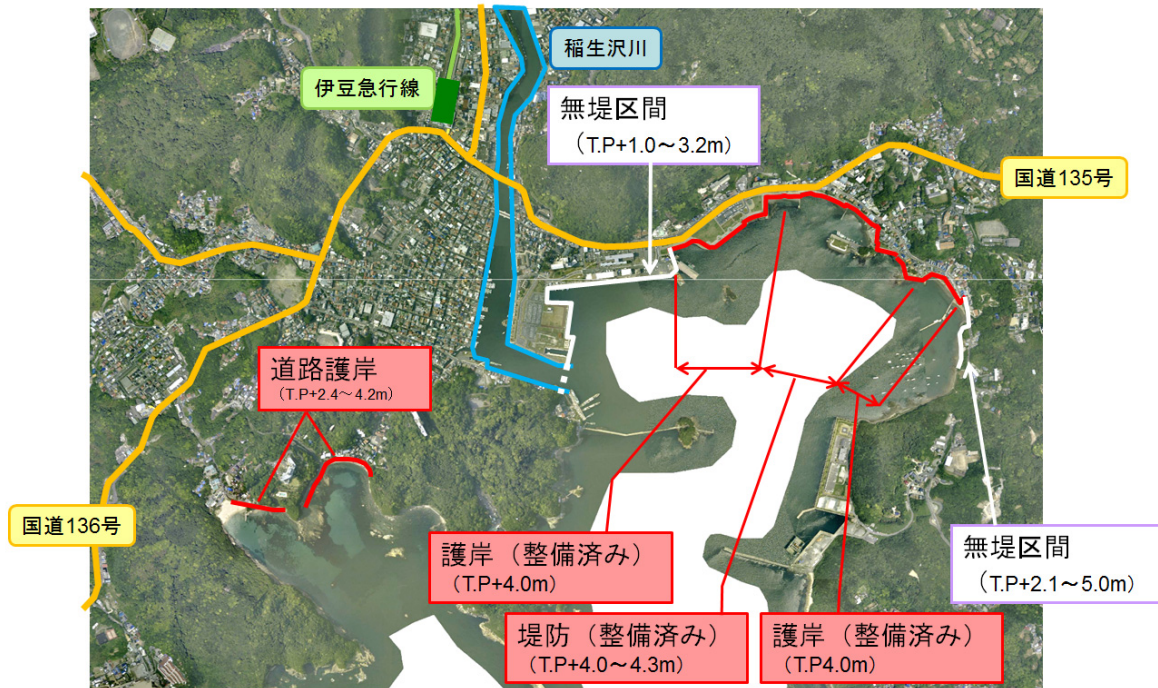
【下田港地区】

- 最大クラス（レベル2）の津波に備えた住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を可能とするための施設整備やソフト対策、啓発活動を推進する。
- 比較的発生頻度の高い津波（レベル1）に対しては、稻生沢川河口付近で津波対策施設を設置する。
ただし、対策施設を設置する場合にあつては、観光産業を中心とする当地区の特性に鑑み、海への眺望や景観へ配慮した構造、外観とする。
- これらの津波対策については、将来のまちの姿を描きながら、その方向性に逸することの無いよう、地区・県・市・関係機関が協力して実施していく。

なお、静岡県地震津波被害想定等が見直された場合は、上記基本方針案についても、適宜見直すものとする。

2.2 津波対策の基本方針案の詳細（下田港地区）

下田港地区では、稲生沢川河口付近で T. P. +4.0m の津波対策施設を設置する。



下田港地区における津波対策施設設置位置



下田港地区現況



津波対策施設設置イメージ

3 津波対策の方針（結論）

静岡県と下田市は、下田市津波対策下田港地区協議会でとりまとめた「下田市下田港地区における津波対策基本方針案」をもとに、「下田市下田港地区の津波対策の方針」を作成しました。

この「下田市下田港地区の津波対策の方針」は、地区の実情等を最大限に反映するとともに、津波対策静岡方式推進検討会による検討も踏まえて、作成したものです。

下田市下田港地区の津波対策の方針

1) レベル1 津波に対する施設整備について

- ・ 静岡県（稻生沢川河川管理者及び下田港海岸管理者）は、下田港地区において津波対策施設の整備を実施することとし、整備にあたっては、観光業を中心とする当地区の特性に配慮した構造、外観とする。

2) 避難について

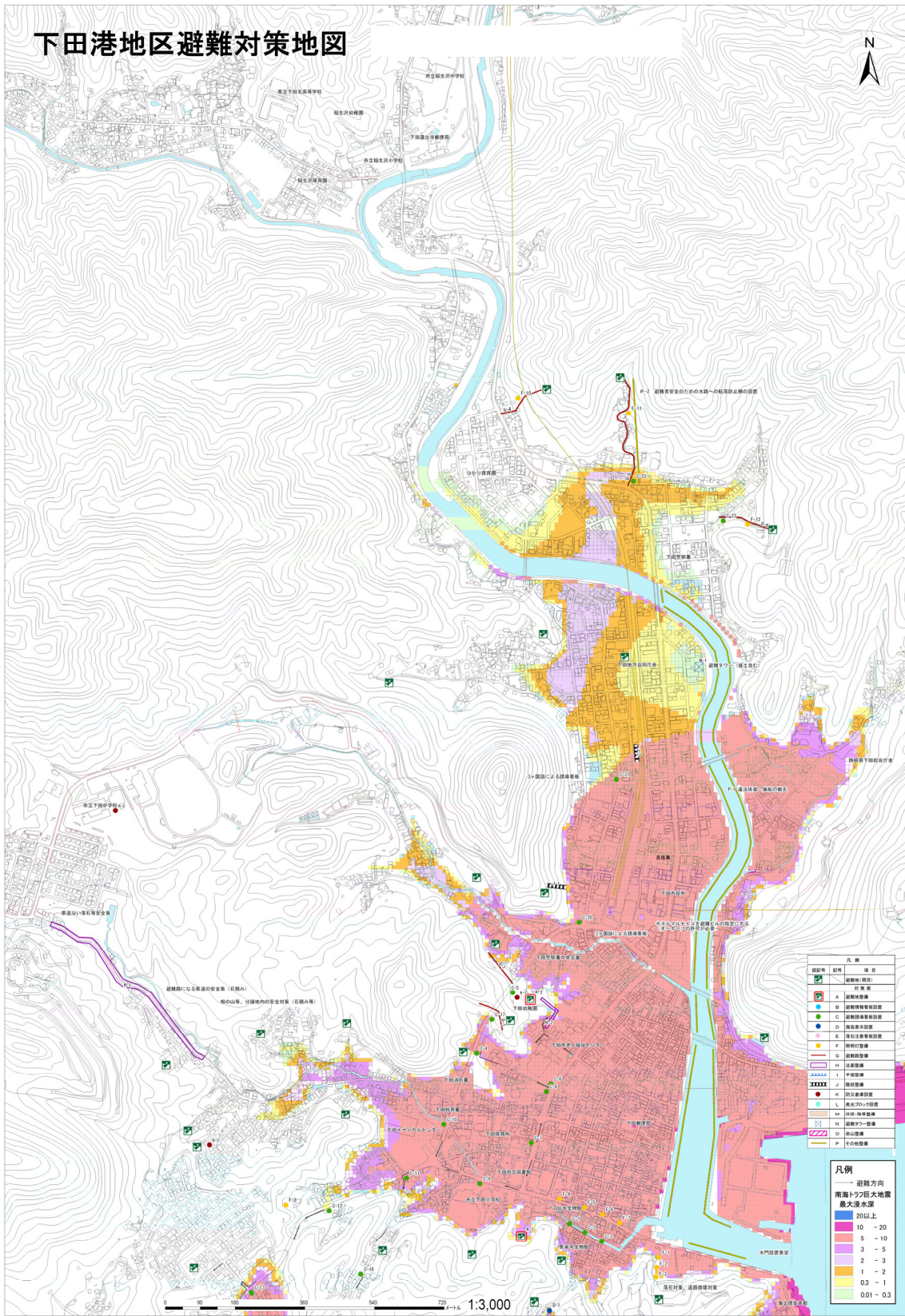
- ・ 下田市は、最大クラス（レベル2）津波に対し、住民や観光客の迅速かつ主体的な避難を最重要の対策と位置付け、下田市の津波避難計画に基づく避難を後押しするソフト対策を推進する。なお、ソフト対策の内容や優先順位の考え方については、「下田港地区の津波対策の基本方針案」の別表を参考とする。

3) その他

- ・ これら津波対策は、地区、県、下田市、関係機関が協力し、着実に実施していくとともに、今後も、ソフト対策を検討していく。
- ・ 静岡県の地震津波被害想定等が見直された場合は、この方針についても適宜見直す。

課題	担当	短期的対策（5年以内）	中期的対策（10年以内）	域的対策	備考
避難路 ・避難地までの安全確保 ・避難路の安全確保 ・避難場所から避難所への移動経路確保 ・より安全な場所へ移動するための避難路の確保	市及び 自主防	避難路の整備 (G-1、G-7) 避難所への移動路整備	避難路の整備 (G-2～G-6) 多方面からの避難路、避難所への移動路整備 既存避難路の拡張 新たな避難階段の整備 (J-1～J-2) 高台等への新たな避難階段の整備	避難路の整備 (G-2～G-6) 多方面からの避難路、避難所への移動路整備 既存避難路の拡張 新たな避難階段の整備 (J-1～J-2) 高台等への新たな避難階段の整備	
・地区内幹線道路及び避難路の安全確保	市及び 自主防	避難路沿い水路への転落防止策設置 (P-2) 避難路安全対策			短期的対策は、静岡県は、静岡県の対象
避難路 (標示)	市	避難誘導看板(標識)の設置 (O-1～O-4、O-6～O-16、O-18～O-23) 幹線道路から避難地への誘導	避難誘導看板(標識)の設置 (O-5、O-17) 新たに整備した避難路に対する誘導施設	避難路の法面整備 (H-1～H-2) 地区内幹線道路及び避難路の安全確保	短期的対策は、静岡県は、静岡県の対象
避難路 (照明)	市及び 自主防	照明灯整備 (F-1～F-12) ソーラー照明等の整備			短期的対策は、静岡県は、静岡県の対象
避難地 ・避難地までの安全確保 ・夜間避難(携帯電話等)の対応不足 ・避難地で長時間滞在させざるを得ない状況への対応	市及び 自主防	避難地の整備 (A-1) 自然高台を利用した避難地の整備 避難地への防災倉庫整備 (K-3) 避難地での足止めを想定した備蓄 自主防 避難地での足止めを想定した備蓄	避難地の整備 (A-2) 既存避難地の機能拡充整備 避難地への防災倉庫整備 (K-1～K-2、K-4) 避難地での足止めを想定した備蓄 浸水想定区域内自主防の備蓄資機材等の保管		短期的対策は、静岡県は、静岡県の対象 A-1: 整備済み
・より近い場所での避難地確保	市		命山又は避難タワーの整備 (N-1) 津波避難マウンツの整備		短期的対策は、静岡県は、静岡県の対象
その他 ・津波遡上対策 ・避難訓練の充実 ・自主防災組織の強化 ・指定避難路の確保 ・津波避難ゼルの確保	市 自主防	昼夜、気象など条件別避難訓練の実施 備蓄資機材支援、防災倉庫整備支援 防災訓練強化 その他		河川違法係留船及び陸船の撤去 (P-1) マイマイ通りの避難安全確保 民間施設との津波避難ゼル協定締結	候補の選定及び前浪調査の実施

下田港地区の津波対策の基本方針案（別表）



下田港地区の津波対策の基本方針案（別図）

(参 考 资 料)

参 1 津波被害想定

参 1. 1 津波浸水想定とレベル 1 津波必要堤防高

【下田港地区】

平成 27 年 6 月に公表された駿河・南海トラフ沿いで発生する地震動と津波浸水想定において、レベル 1 津波（5 地震重ね合わせ）の最大浸水深図を図 1 に示した。

また、レベル 2 津波（南海トラフ沿いの最大クラスの地震）の最大浸水深図を図 2 に示した。

なお、レベル 1 津波に対する必要堤防高は T. P. +11. 0m であるが、外防波堤が完成すれば、下田港内は T. P. +4. 0m まで必要堤防高は低減される。レベル 2 における平均津波高は T. P. +15. 0m、最高津波高は T. P. +25. 0m である。

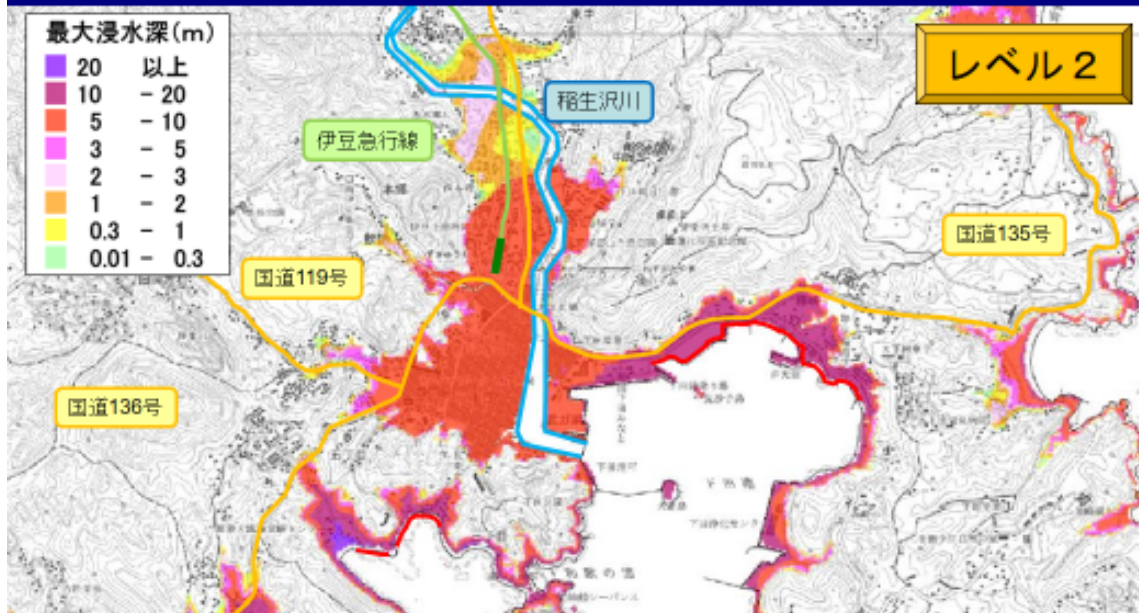
◇下田港地区におけるレベル1津波の想定浸水域図



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

図1 5地震重ね合わせ（レベル1）最大浸水深図

◇下田港地区におけるレベル2津波の想定浸水域図



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

図2 南海トラフ沿いの最大クラスの地震（レベル2）最大浸水深図

参2 検討経緯

【下田港地区】

下田港地区では平成27年3月19日に第1回の「下田市津波対策下田港地区協議会」を開催し、会長を下田土木事務所企画検査課専門監、副会長を下田市産業振興課課長補佐とした。

その後、計8回の地区協議会と4回の関係者説明会を開催し、津波対策についてハード・ソフトの両面から検討し、最終の第8回で事務所から「地区協議会における津波対策のとりまとめ」を掲示し了承を得た。

・地区協議会

① 構成

会長	静岡県交通基盤部下田土木事務所企画検査課専門監
副会長	下田市産業振興課課長補佐
メンバー	・地元区長、自主防災会長、自主防長 ・観光協会、漁業協同組合、商工会議所 ・下田市（建設課、地域防災火（現在の防災安全課）、観光交流課、産業振興課） ・静岡県（下田土木事務所、賀茂振興局（現在の賀茂地域局））
事務局	静岡県下田土木事務所企画検査課、下田市産業振興課

② 開催状況（出席者に下田市・静岡県関係者は含まない）

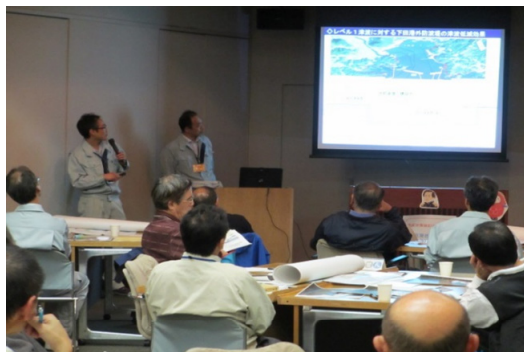
回	開催日・場所	出席者	概要
1	H27. 3. 19 道の駅開国下田みなと	12名	・第4次地震想定について ・ソフト対策の取り組みについて ・これからの津波対策の取り組みについて
2	H27. 9. 11 下田市民文化会館	28名	・地区協議会の目的と津波検討会の進め方について ・新しい想定津波について
3	H27. 11. 18 下田市民文化会館	18名	・L1津波に対する水門整備検討案について （ワークショップ）
4	H28. 1. 14 下田市民文化会館	21名	・L1津波に対する水門整備案について （ワークショップ）
5	H28. 6. 30 下田市民文化会館	23名	・水門案について周辺のまちづくりと調整 ・避難の具体的な対策について
6	H28. 11. 24 下田市民文化会館	25名	・アンケート調査結果について
7	H29. 3. 15 下田市民文化会館	24名	・下田港地区委員アンケート結果 ・地区協議会における津波対策のとりまとめ
8	H29. 6. 1 下田市民文化会館	18名	



第1回地区協議会



第2回地区協議会意見交換の説明



第3回地区協議会資料説明



第4回地区協議会風景



第5回地区協議会



第6回地区協議会協議風景



第7回地区協議会資料説明



第8回地区協議会資料説明